

<p>学個別力・目標4 師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>【保護者アンケート】</p> <p>「学校(教員)は、こどもの学力向上のために、指導内容や指導方法を工夫し、積極的に取り組んでいると思う」に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた割合</p> <p>4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満</p> <p>【保護者405名】</p> <p>94.4%</p>	<p>4: 〇夏季休業中に授業改善プランを見直し、授業改善を行った。授業観察時の学習指導案に明記したり、教員が互いに授業を見合い、意見交換したことで教師の授業力の向上を図った。</p> <p>3: 〇OJT研修として、教員によるワークショップを年間6回行った。各教員の授業を小グループで検討することで授業力の向上に努めることができた。〇昨年度と同様に会議を精査し減らすことにより、放課後の時間を有効に使うことができた。教員が児童に向き合う時間も増えた。今後も継続していく。</p>	<p>A 8</p> <p>〇OJT研修に加え、社会を経験した先輩(会社を勧めあげた人)を研修に加えたいと思う。</p> <p>〇きめ細かいOJTなどの取組がこの結果につながっているのだからと思う。教員の働き方改革とのバランスが難しいものと思慮しますが、引き続きお願いいたします。</p> <p>〇教師が指導以外の様々なことで多忙になっていると聞くと、そのような環境の中で教育上の工夫をして、教師力の向上が見られるように思う。</p> <p>〇先生の不足をお聞きした。力を合わせてこどもたちの教育のために働いて下さる先生方に感謝です。</p> <p>〇教師の働き方改革が求められている中で、会議を精査し、減らすことにより、児童と向き合う時間が増えたことは、教員の心の余裕にもつながり、教員は、こどもたちの豊かな心の育成にも影響すると思います。引き続き次年度も、こどもたちと向き合う時間の確保に努めてほしいと願います。</p>
<p>た自個め別の目学し標びく5 いき支援いきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>【児童アンケート】</p> <p>「自分は、毎日の学校が楽しい」に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合</p> <p>4:90%以上 3:85%以上 2:80%以上 1:80%未満</p> <p>【児童531名回答】</p> <p>91.7%</p>	<p>4: 〇週1回の生活指導夕会や月1回の運営プロジェクトで情報を共有するとともに、月1回の特別支援校内委員会や特別支援担当教員と情報交換をしたり、指導についての確認したりした特別支援全体会を行い、全教員で支援を要する児童についての情報共有を行った。特別支援教育のあり方について全教員が理解を深めるために、特別支援学級の教員を招いた研修会も実施し、理解を深めた。</p> <p>3: 〇月1回、不登校対策委員会を開き、不登校児童の情報を共有した。また、登校に向けた個別の指導計画書を作成して、不登校対策に取り組んだ。学年会や生活指導部会で話したりして養護教諭に相談したりすることで組織的に対応することができた。</p> <p>2: 〇夏季休業中に児童の問題行動やいじめの対応に関する研修会を開いた。また、毎週、児童の学校生活状況について全教員で確認する機会を設けた。今後も普段の道徳の授業や月1回の人権タイムで児童のよさを認め、自己肯定感を高めたり個性を伸ばしたりしていけるようにする。</p> <p>1: 〇月1回の教育相談日や校長相談日、スクールカウンセラーによる5年生全員面談を実施し、児童や保護者の思いに寄り添う取組をしてきた。</p>	<p>A 7</p> <p>〇夕会や情報共有の場が充実していると思うので続けたいと思う。</p> <p>〇児童一人一人を見ると本当に楽しそうに学校生活を送っていることがよく分かります。引き続きよろしくお願いたします。</p> <p>B 1</p> <p>〇いじめ問題、不登校問題、さまざまな児童に対応して向き合われていることに感謝です。</p> <p>〇保護者アンケートの結果を見ると、他の項目に比べ、保護者がいじめ防止に関する項目の肯定パーセンテージが低いように感じている。各クラスに複数の大人が介入することにより、早期にいじめなどの発見、解決につながることも考えるため、教員のみならず、SC.支援員の協力も得て、支援体制の充実を希望します。</p> <p>〇思いやりのある心を大切にしてほしいと思いました。</p>
<p>安柔個心軟別 なで目標教創育造6 環的な学習を学ぶ空り間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p> <p>③校舎改築に伴い、こどもたちに安心、安全な学習環境を整える。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>【保護者アンケート】</p> <p>学校は、施設・設備をこどもの安全に留意して整備していると思う」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合</p> <p>4:85%以上 3:80%以上 2:75%以上 1:75%未満</p> <p>【保護者名回答】</p> <p>93.6%</p>	<p>4: 〇校外学習に出かけるときには必ず安全な道を通ることを心掛け、下見をきちんとして、計画を練り安全に実施することができた。改築工事の影響で、校外の施設を借りて行った水泳の授業をはじめ、様々な校外学習において、でんしよう応援団やPTAの協力による見守りや付き添いにより、教育活動を充実させることができた。</p> <p>3: 〇危険や災害に対する教育を計画的に行った。改築工事により今までの避難経路を変更することもあったが、様々な状況を想定して避難訓練を行った。安全タイムにおいて安全な生活について考える場を設けたりした。</p> <p>2: 〇月1回の安全点検を行い、全教職員が目で見守る場所を探し、修繕すべきところを確認した。校舎の改築工事において、安全上、お知らせする内容はまひポケット、文書等により発信していく。休み時間等、児童が安全に遊べるように複数の教員による見守りを行ってきた。今後も継続していく。</p>	<p>A 8</p> <p>〇改築工事中は色々ご苦労されると思いますが、PTAも全力で御協力します。</p> <p>〇ICT教育には、予算を増額していくべき。安全点検をきめ細かく行うために、人材を投入する必要がある。</p> <p>〇校舎に足を踏み入れるたびに、いろいろな箇所が安全を考慮して改善されているのに驚きます。引き続き、教育環境の整備に努めてほしいと願います。</p> <p>〇安全安心に実施されていると思います。</p> <p>B 4</p> <p>〇建て替え中、工事に伴う登下校時における安全面の配慮を今後も行って欲しい。</p> <p>〇ICT系をもちいた教育については、児童にかなり定着しているように感じている。一部ではスマートフォンを制限するような動きもあるが、ある程度のしぼりは必要だと思う。</p> <p>〇ICT機器に慣れることは重要ではあるが、「書くこと」の指導をぜひおろそかにしないように要望する。</p>
<p>学地学個校校別をコ・目ツミ家標 くニ・マテ地す い地域の核連と携して協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p> <p>④学校運営協議会の委員と学校の教育活動について、児童の様子やよりよい教育環境のあり方について話し合っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>【保護者アンケート】</p> <p>「学校は地域の力をこどもたちの教育活動に生かしている」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合</p> <p>4:85%以上 3:80%以上 2:75%以上 1:75%未満</p> <p>【保護者405名】</p> <p>97.4%</p>	<p>4: 〇学校協働本部「でんしよう応援団」はPTAと連携して、夏のわくわくスクールを実施し、外部講師を招聘した講座を実施した。延べ児童数953名の参加があった。保護者や地域の方々94名の協力が得られた。今後はさらに学校支援地域本部と連携し、地域の人材や資源を生かした学校づくりを進めていく。</p> <p>3: 〇登下校の見守りについては、PTA.教員で朝と放課後に見守り活動を行うことができた。また、見守りで気になったことを話合いの話題に挙げ、周知してきた。</p> <p>2: 〇毎月発行する学校便りや毎週発行する学級便り、その他関係書類を電子配信し、利便性や即時性の向上を図った。今後もホームページへの理解と協力を得ながら、教育活動の発信を行っていく。</p> <p>1: 〇ホームページやまひポケットを活用し、継続して教育活動を発信している。(週に2〜3回更新)</p>	<p>A 7</p> <p>〇学校と地域のコミュニティのあり方は、今後の大きな課題であると思う。学校が核として機能できるかは今後も課題のように感じる。</p> <p>〇こどもたちへの愛情が感じられる。大変だと思うが、頑張ってください。</p> <p>B 1</p> <p>〇地域コミュニティとの連携はよくできていると思われる。地域の行事もこどもたちに参加しやすいものを工夫しながら、今後も活動を行ってきたい。</p> <p>〇ホームページには、学校生活の様子が日々更新され、こどもたちが学校でどう過ごしているかがわかり、家庭でのコミュニケーションのきっかけにもなっているのと思っています。また、コミュニティスクールとなり、ますます地域と共にある学校、地域に見守られている学校となるように、地域・家庭と協力して、こどもたちを地域ぐるみで育てる体制づくりが充実していくことを願います。</p> <p>C 4</p> <p>〇地域でもっと協力できることがあるかこれからの課題だと思います。</p> <p>〇100周年の式典は、まさに地域、PTA、応援団、学校と一体化したものでした。児童のいきいきした顔、自身に満ちた顔がとても印象的でした。</p>